

2. 朝倉市食料・農業・農村基本計画に係るアンケート調査結果（令和2年3月実施）

（1）調査の概要

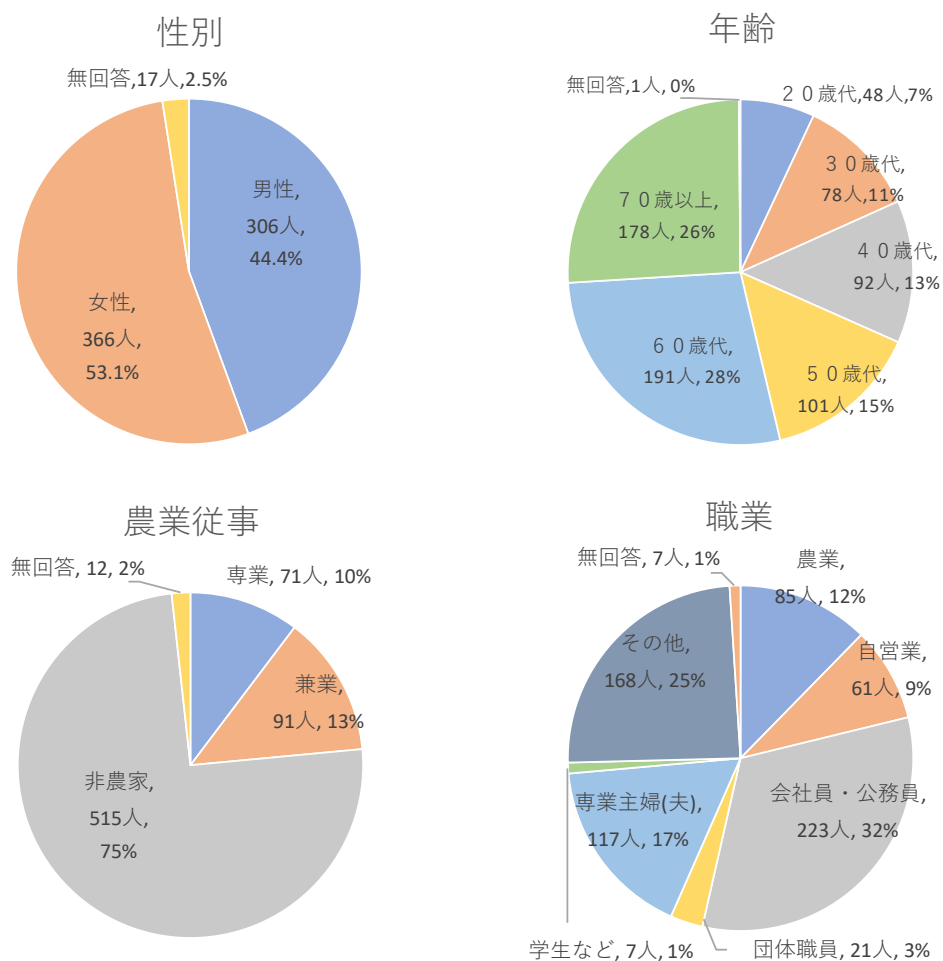
令和2年3月に20歳以上の市民1,500人を無作為に抽出し、郵送法によりアンケート調査を実施し、回収率は45.9%でした。

配布数	回収数	回収率
1,500	689	45.9%

（2）回答者の属性

問1. あなた自身についておたずねします。設問ごとにあてはまる番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- ・性別は「男性」が44.4%、「女性」が53.1%と女性が多く、年齢は「60歳代」が最も多い27.7%、次いで「70歳代以上」の25.8%、「50歳代」の14.7%と、50歳代以上が全体の約7割を占めています。
- ・農業従事は、「非農家」が74.7%を占め、「専業」は10.3%、「兼業」は13.2%でした。
- ・職業は、「会社員・公務員」が32.4%で最も多く、次いで「その他」(24.4%)、「専業主婦(夫)」(17.0%)の順になっています。

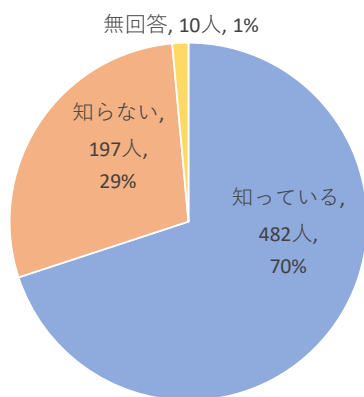


(3) 調査結果

問2. あなたは朝倉市が県内有数の農業地域であることを知っていますか？

「知っている」70.0%、「知らない」28.6%と知っている人が7割を占めています。

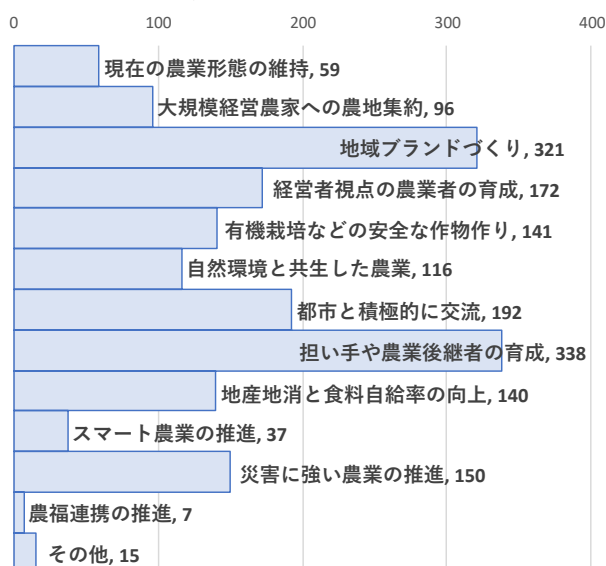
県内有数の農業地帯という認知



問3. 朝倉市の農業の今後のあり方で重要なことは何だと考えますか。

次の中から3つ以内選んで番号に○印をつけて下さい。

今後の農業の在り方

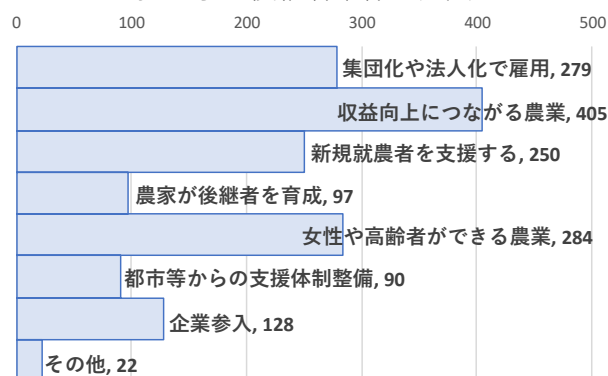


「担い手育成」338で最も多く、「地域ブランド(特産品)」321、「都市と積極的な交流」192、「経営者視点の農業者育成」172、「災害に強い農業」150の順となりました。

問4. 農業の担い手や後継者確保の方法についてご意見がありますか。

次の中から3つ以内選んで番号に○印をつけて下さい。

担い手・後継者確保の方法

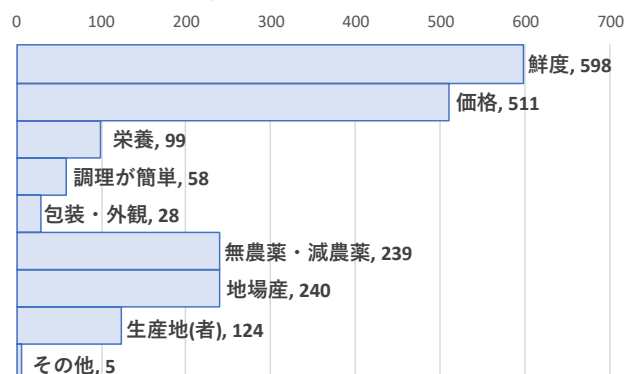


「収益向上につながる農業」が405で最も高く、「女性や高齢者ができる農業」が284、「集団化や法人化で雇用」が279、「新規就農者支援」が250、「企業参入」128の順となりました。

問5. 農産物を購入するときに留意していることは何ですか。

次の中から3つ以内選んで番号に○印をつけて下さい。

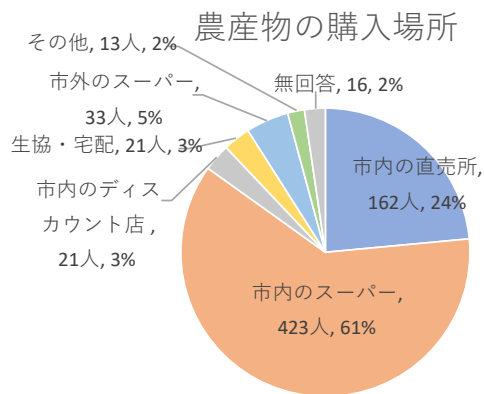
農産物購入時に留意する点



「鮮度」598、「価格」511が突出しており、「地場産」240、「無農薬・減農薬」239の順となっています。

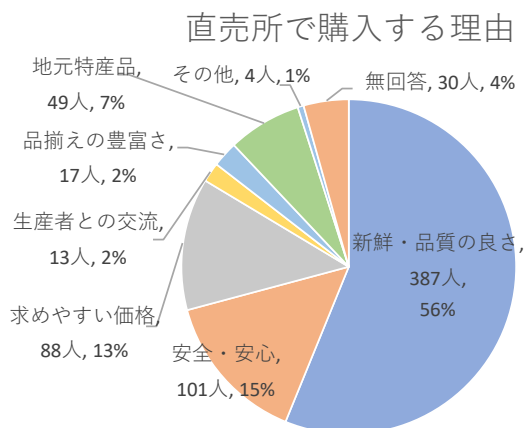
問6. 農産品(物)を日頃どこで購入していますか。

・「市内のスーパー」が61.4%と最も多く、次いで「市内の直売所」23.5%となっています。



問7. 農産物を直売所で購入する一番の理由は何だと思われますか。

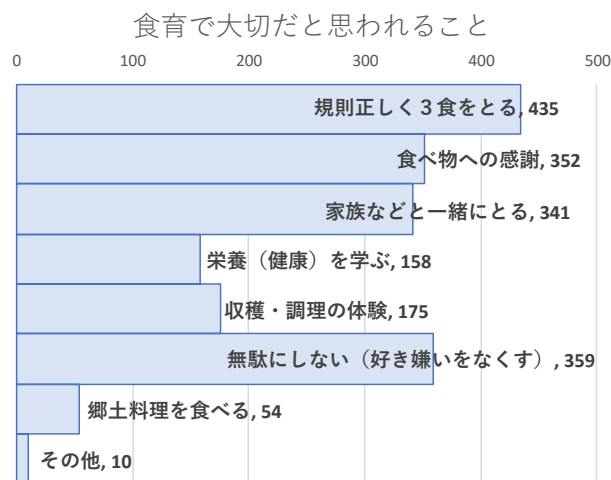
・「新鮮・品質の良さ」が56.2%と最も多く、「安全・安心」14.7%、「求めやすい価格」12.8%が主な理由となっています。
 ・上記は「問5」の回答と一致することから、直売所は消費者が農産物購入時に留意する条件を満たしているといえます。



問8. 子どもの教育の中で食育は欠かせないものだと言われています。

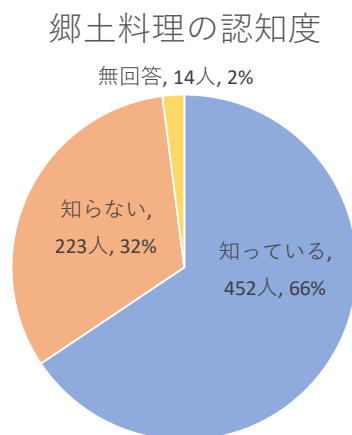
大切に思われることを3つ以内選んで番号に○印をつけて下さい。

・「規則正しく3食食べる」435、「無駄にしない」359、「食べ物へ感謝する」352、「家族と一緒に食べる」341、「収穫・調理の体験」175の順です。

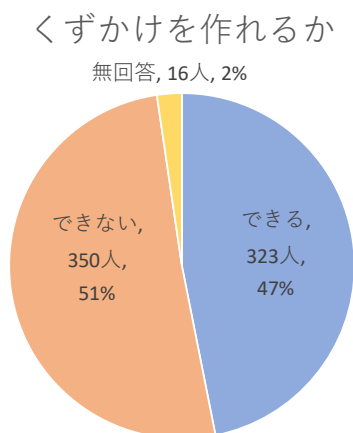


問9. 朝倉市の郷土料理「くずかけ」についての質問です。

(1)「くずかけ」が朝倉市の郷土料理であることを知っていますか？



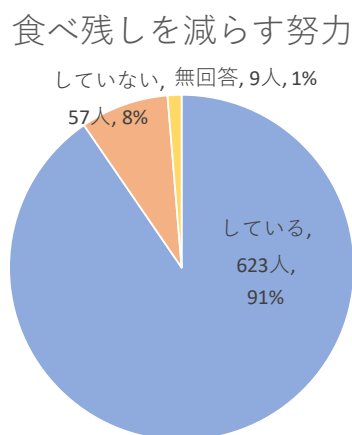
(2)「くずかけ」を作ることができますか？



・くずかけは約7割の人が知っています。
 ・ただし、作ることができる人は半数以下です。

・92.7%の人が正月等は雑煮を食べています。
 ・最も多かったのは「博多雑煮」47.2%、「その他」27.2%、地元の「筑前朝倉蒸し雑煮」は25.6%でした。

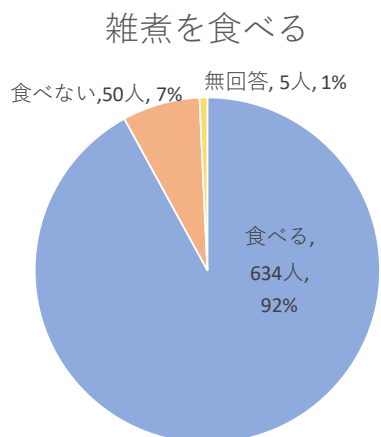
問11. 食べ残しや食材の廃棄を減らす努力をしていますか？



・約9割の人が、食べ残しを減らす活動をしています。

問10. 朝倉地域の雑煮についての質問です。

(1) 正月等、「雑煮」を食べていますか？



(2) ((1) ではいの方へ) どんな雑煮を食べていますか？ (複数回答可)

